
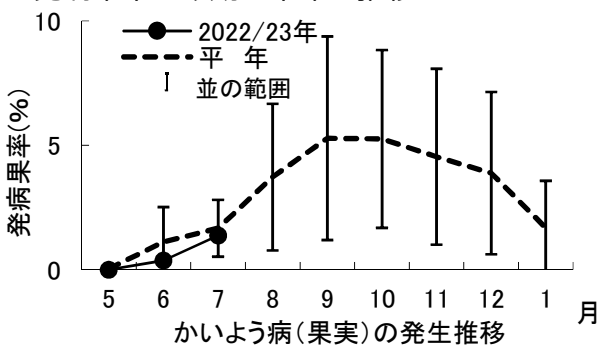


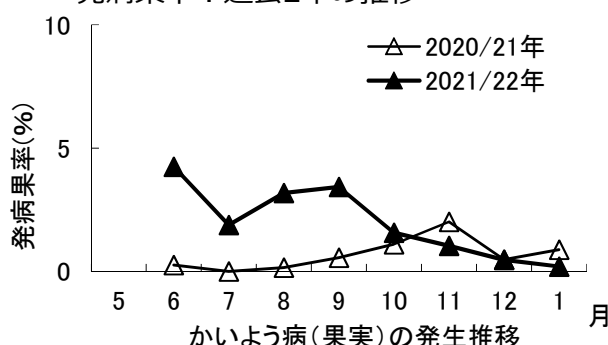
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
		8 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

発病果率：今期と平年の推移

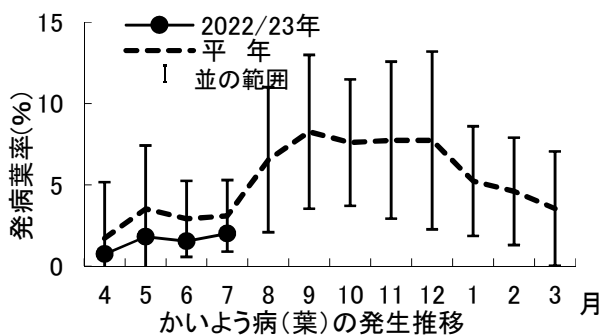


発病果率：過去2年の推移

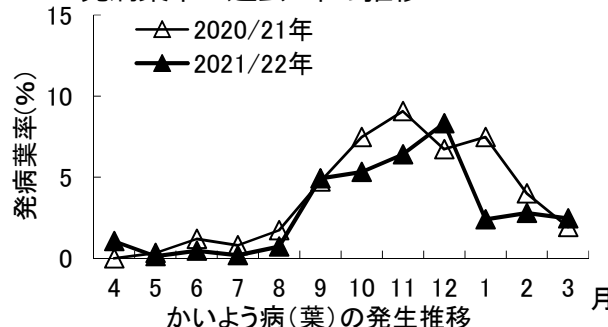


・果実の発病度0.3 (平年0.4)、発生ほ場率60.0% (平年68.6%)

発病葉率：今期と平年の推移



発病葉率：過去2年の推移




・果実の発病度0.4 (平年0.7)、発生ほ場率60.0% (平年71.4%)

防除のポイント

- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。
- ・罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口 (風傷) は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。

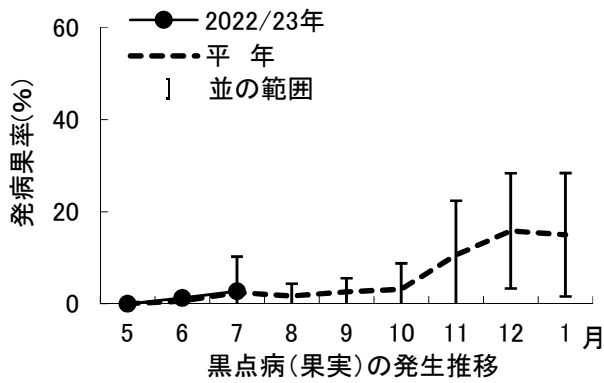


被害葉→

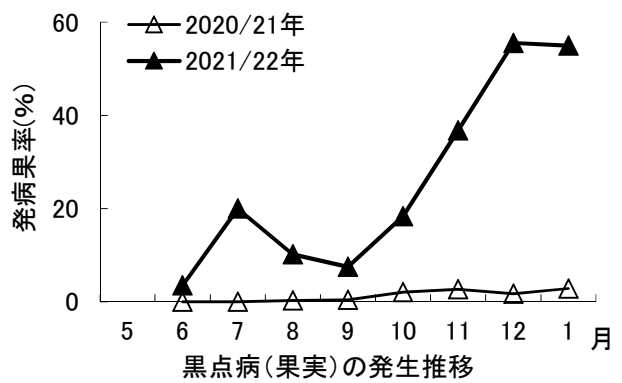
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報	7 月からの増減傾向	→	
	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今期と平年の推移




過去2年の推移



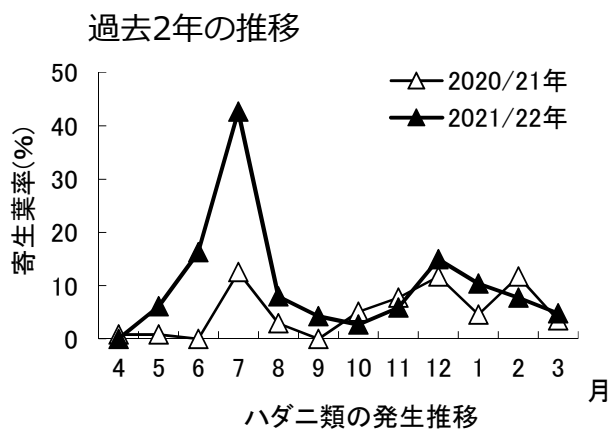
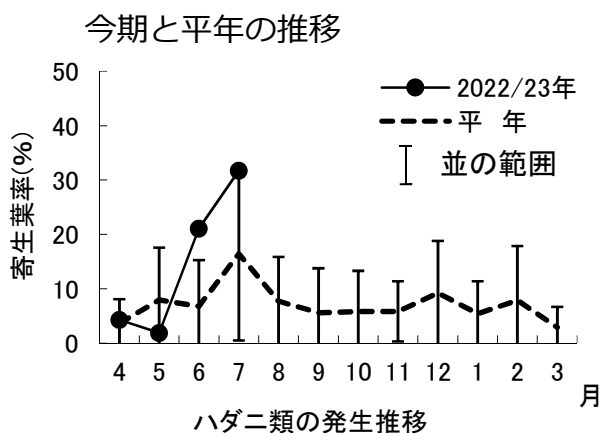
- ・ 果実の発病度 0.6 (平年 0.7)
- ・ 発生ほ場率 100% (平年 5.7%)

防除のポイント

- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	並	
予報	7 月からの増減傾向	↓	
	8 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↓）	

調査結果



- ・発生ほ場率80.0%（平年43.2%）
- ・病害虫防除員の報告によると発生程度は多であった。

防除のポイント

- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状